

お知らせ

平成23年3月23日
日本原子力発電株式会社

東北地方太平洋沖地震後の東海第二発電所の状況について (3月23日現在の状況)

3月11日の東北地方太平洋沖地震により、定格熱出力一定運転中の東海第二発電所(沸騰水型軽水炉:定格電気出力110万キロワット)は、タービン振動大によりタービンが停止し、原子炉が自動停止しました。その後の東海第二発電所の状況についてお知らせします。

1. 原子炉施設等の状況
 - ・原子炉は冷温停止状態で、水位、圧力、温度ともに安定しております。
2. 周辺環境への放射能の影響
 - ・モニタリングポストなど、環境放射線モニタの指示値は他発電所の影響を受け、通常より若干高めの指示を示しておりますが、排気筒放射線モニタ指示値は通常の範囲内での変動であり、外部への放射能の影響はありません。今後も引き続き監視してまいります。
3. 電源系統
 - ・外部常用電源(275kV)にて所内電源系統は確保しています。
 - ・外部予備電源(154kV)および非常用ディーゼル発電機(3台)は待機中*1です。

*1: 2C非常用ディーゼル発電機用海水ポンプは、工場にて点検後現地に復帰し、試運転を実施し、問題ないことを確認しました。(3月22日22時10分待機状態に復帰)

4. 地震による各設備の調査状況
 - ・主変圧器・起動用変圧器から絶縁油漏れ
3月11日の東北地方太平洋沖地震に伴い変圧器の液面が変動したことにより絶縁油が僅かに放圧管*2より排出されました。

(3月15日復旧)

なお、主変圧器については、電気関係報告規則第4条(公害防止等に関する届出)の表第19号*3に該当しております。

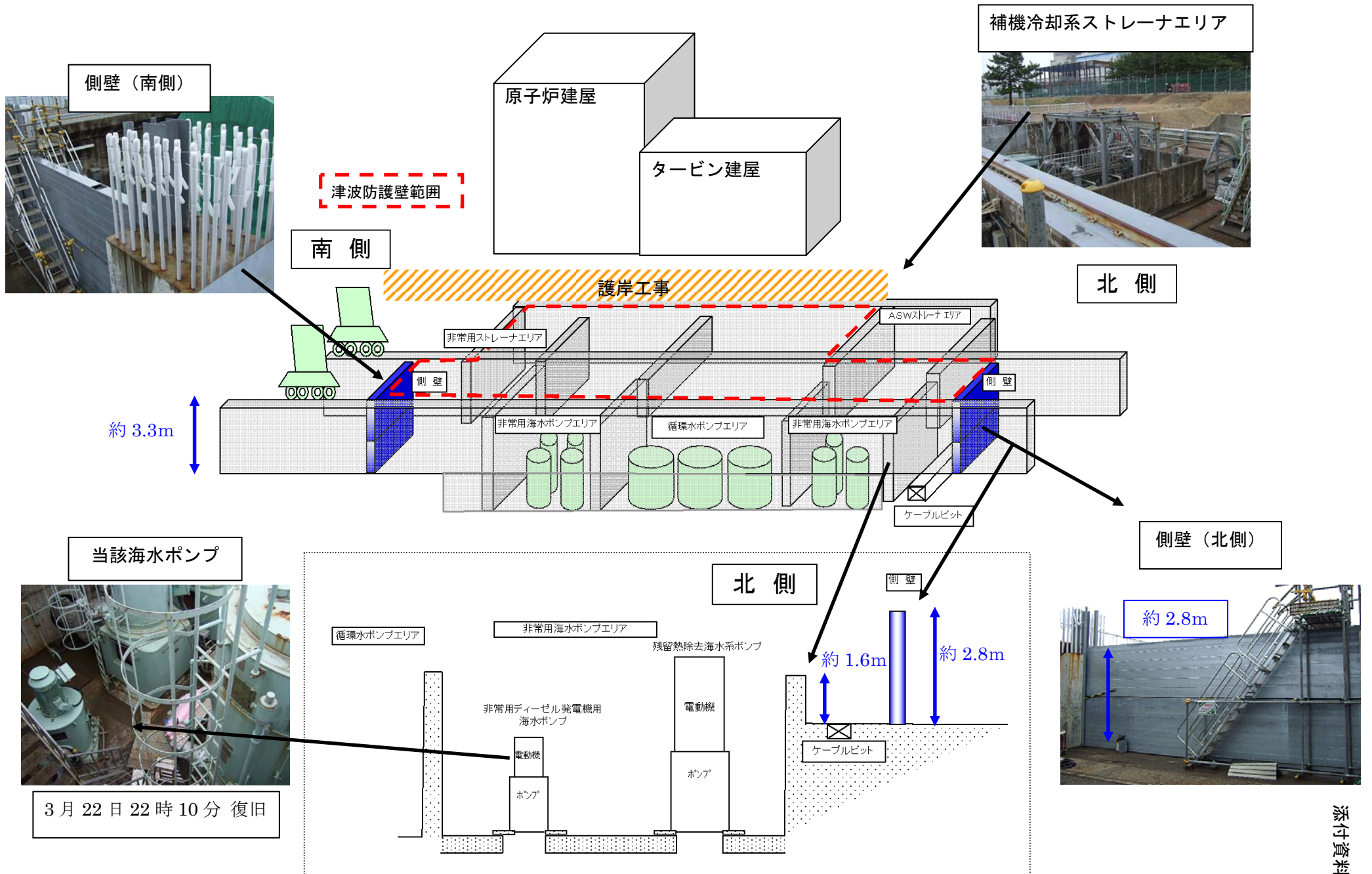
- *2: 放圧管: 変圧器内の異常圧力を検出し、安全に放出するための装置。
- *3: 電気工作物の破損その他の事故が発生し、絶縁油が構内以外に排出された、又は地下に浸透した場合、経済産業大臣へ届出するもの

添付資料 1 : 東海第二発電所 取水口周りの海水ポンプエリア状況図
添付資料 2 : 東海第二発電所 変圧器設置状況

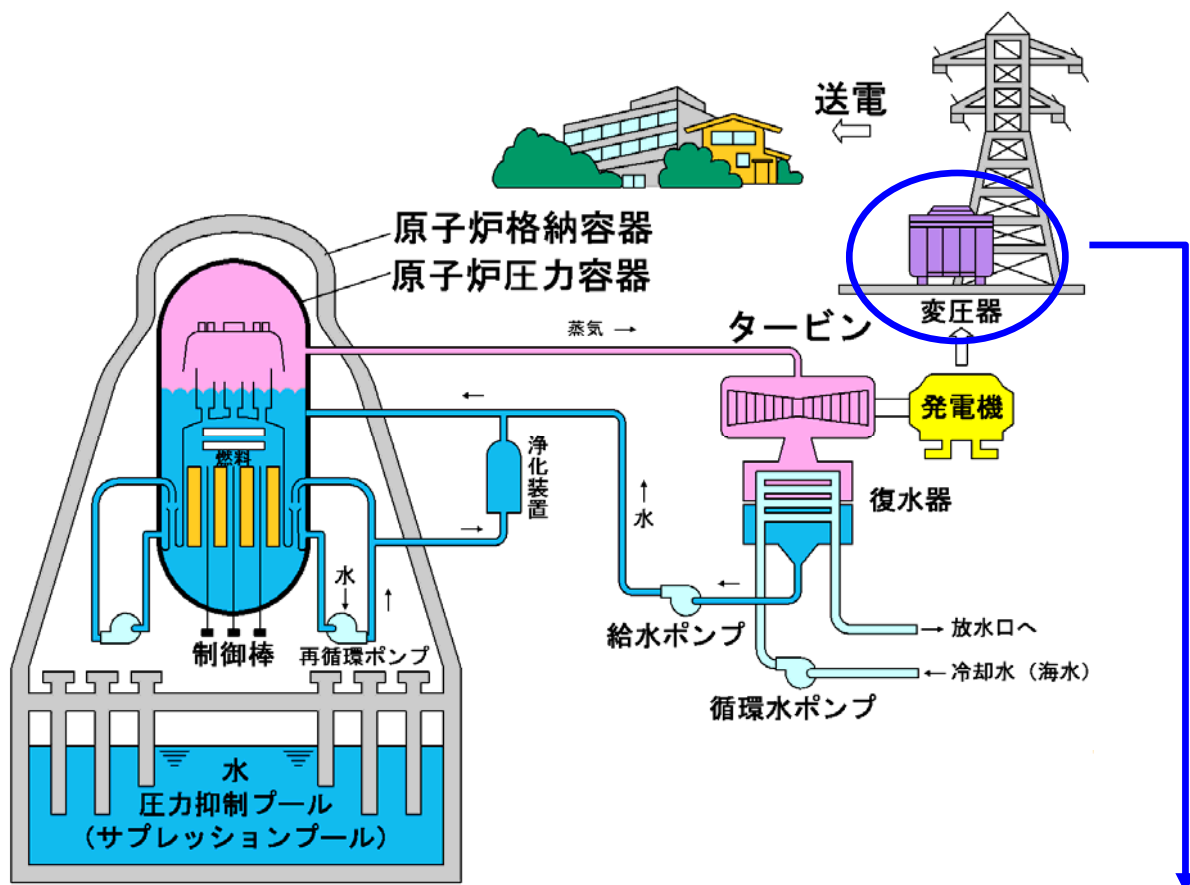
以 上

問合せ先 : 日本原子力発電株式会社
広 報 室 荻 野 ・ 椎 名
TEL : 03-6371-7300

東海第二発電所 取水口周りの海水ポンプエリア状況図



東海第二発電所 変圧器設置状況



放圧装置

主変圧器 : 1台
 送電用の昇圧用変圧器
 起動変圧器 : 2台
 受電し、所内動力用電源として使用するための降圧用変圧器

